

公益社団法人日本地震工学会 第 65 回理事会議事録

A.日時： 2023 年 8 月 4 日（金） 16 時 00 分～19 時 20 分

B.場所： 建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.メンバー（下線は欠席者）：

（会長）高田毅士

（副会長）東 貞成、中村いずみ、年縄 巧

（担当理事）小林実央、高橋郁夫、山田岳峰、前川 晃、入江さやか、多幾山法子、皆川佳祐、阿部慶太、向井洋一、楠 浩一、中嶋唯貴、井上和真、高瀬裕也、小檜山雅之

（監事）永野正行、室野剛隆

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1) 第 64 回理事会議事録（案）確認（高橋理事） | 資料 65-01 |
| 2) 会務報告（小林理事） | 資料 65-02 |
| 3) 会計報告（山田理事） | 資料 65-03 |
| 4) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 65-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事） | 資料 65-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事） | 資料 65-06 |
| 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（阿部理事） | 資料 65-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（向井理事） | 資料 65-08 |
| 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（井上理事） | 資料 65-09 |
| 10) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 65-11 |
| 11) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事・楠理事） | 資料 65-10 |
| 12) 将来構想委員会からの報告（東副会長） | 資料 65-12 |
| 13) 関東大震災 100 周年記念セミナーの報告（東副会長） | 資料 65-13 |

議案

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（高橋理事） | 資料 65-14 |
| 第 2 号 共催・後援・協賛等（高橋理事） | 資料 65-15 |
| 第 3 号 会員名簿とその告知について（会員部会山田理事・高橋理事） | 資料 65-19 |
| 第 4 号 委員会委員の委嘱（阿部理事） | 資料 65-20 |

懇談事項

- | | |
|--|----------|
| 1) 「大崎順彦（記念）賞」の設立に関する提案について（高田会長） | 資料 65-16 |
| 2) 第 11 回会長懇談会の議題，関係学会との懇談について（小林理事） | 資料 65-17 |
| 3) 18th WCEE のスポンサーシップについて（中村副会長・阿部理事） | 資料 65-18 |
| 4) 「事務処理規定」「財産管理運用規則」の改訂について（総務・会計・事務局） | 資料 65-21 |
| 5) 防災学術連携体フォーラム「関東大震災 100 年と防災減災科学」（山田理事・阿部理事） | 資料 65-22 |
| 6) 17th WCEE に関わる預り金の取扱について（事務局） | 資料 65-23 |

議題

報告事項（実際の報告順位は、1), 2), 3), 5), 4), 6), 7), 8), 10), 11), 9), 12), 13)）

- 1) 第 64 回理事会議事録（案）の確認（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 65-01 に基づいて、第 64 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 会務報告（小林理事）
 - ・小林理事より、資料 65-02 に基づいて、前回理事会以降の会務報告がなされた。
 - ・高田会長より、可能な限りメディアに対応していきたい。メキシコ地震工学会から講演依頼に対し、過去にメキシコ地震工学会大会に中埜前会長、清野前会長がオンラインで参加したことがあり、田尻先生（東大建築）が現地参加を引き受けて頂いた。今後も良好な関係を継続したいとの発言があった。
- 3) 会計報告（山田理事）
 - ・山田理事より、資料 65-03 に基づいて、会計報告がなされた。特に問題無く予算の執行が行われているとの説明があった。
- 4) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・入江理事より、資料 65-04 に基づいて、広報部会からの報告がなされた。アルジャジーラの取材を基にした放送の予定は確認中であるとの説明があった。
 - ・高田会長より、会誌の配布は 3 つの記者クラブだけで良いのかとの質問があり、入江理事より、過去には、熊本地震の特集号を熊本市の記者クラブ、17th WCEE の時には仙台市の記者クラブに配布したこともあり、臨機応変に対応しているとの説明があった。また、入江理事より、配布先に関して助言してほしい旨の発言があった。
 - ・戸田事務局長より、東京都防災部局（23 区）に寄贈したことがあるとの説明があった。
 - ・高田会長より、会誌の配布先について更に適当な場所があるかどうか各理事会メンバーで意見があれば出して欲しいとの要望があった。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事）
 - ・多幾山理事より、資料 65-05 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動について報告がなされた。10/4 の委員会では、若手の議論の場について検討するとの説明があった。
 - ・高田会長より、18th WCEE の新しい情報について多幾山理事にウォッチして欲しいとの要望が出され、多幾山理事はこれを了承した。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）
 - ・皆川理事より、資料 65-06 に基づいて、会誌編集委員会の活動について報告がなされた。各号で 1 題くらい若手からの寄稿を検討している旨の説明があった。
 - ・高田会長より、No.51 の案 2「耐震設計を横断的に考える（仮）」は、各分野ばらばらになっている設計法をテーマにした JAEE にとってなかなか良いテーマであり、是非進めて欲しい旨の発言があった。これに対して、皆川理事より、この案 2 では執筆者にテーマを割り振る必要があり、準備期間が必要であるとの返答があった。これに対して、高田会長より、是非シリーズもので企画して欲しいとの要望があった。
 - ・皆川理事より、イベントでの総合討論（パネルディスカッション（以下、PD）形式など）の内容を、更に充実させ会誌に掲載し、読者とのやりとりを行って意見を求めるような企画も検討しているとの説明があった。
 - ・皆川理事より、会員獲得の一環として、最新号から会誌をホームページで閲覧できるようにする案が説明された。これに対して、高橋理事より、学会としての大きな検討事項であるので、理事

会で検討すべきであるとの発言があった。また、小林理事より、会誌編集委員会で検討して理事会に発議して欲しいとの要望があった。

7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（阿部理事）

・阿部理事より、資料 65-07 に基づいて、国際委員会、地震災害対応委員会の活動について報告がなされた。

① トルコ・シリア地震調査の補助金

・高田会長より、トルコ・シリア地震の調査に関する補助金申請は年内で締め切りにはどうかという提案があり、阿部理事はこれを了承した。また、小林理事より、報告書提出を含めて、調査費用の補助関係の手続きを年度内にクローズしたい旨の発言があった。

・山田理事より、本件は公募するののかという質問が出されたのに対して、阿部理事より、公募にして人数が増えれば審査等の形にしたいとの回答があった。また、早い応募から順次審査を実施したいとの説明があった。

② 16th JESS

・山田理事より、国際基調セッションの招待者の旅費は、当初予算の範囲で賄うのかとの質問に対し、阿部理事より、大林財団からの助成金を支出に充てるとの回答があった。

・高田会長より、会長として基調講演を行うのかとの質問に対し、阿部理事より、会長には基調講演と PD のパネリストをお願いしたいとの説明があり、会長はこれを了承した。また、PD のコーディネータ（モデレータ）は東大・楠先生であるとの説明があった。

・16JEES の海外からの招待者の交通費と宿泊費の支払については、資料のとおり承認された。

8) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）

・向井理事より、資料 65-08 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。

・高田会長より最近の論文投稿の動向について質問があり、向井理事より、6 月くらいから増加傾向にあるとの回答があった。

9) 事業企画委員会（企画）からの報告（井上理事）

・井上理事より、資料 65-09 に基づいて、事業企画委員会の活動（事業計画案）について報告がなされた。

・高田会長より、①若手向け企画（高校訪問）については進めて欲しい旨の発言があった。また、②地震防災における ICT 技術等の最先端事例紹介については、ウェビナーで実施するなら記録を残して欲しいとの要望があった。

・井上理事より、技術等の最先端事例紹介の若手研究員の交流は対面で実施したい旨の要望があった。その際の費用に関しては事務局と相談するとの発言があった。

・戸田事務局長より、募集の時期に関する質問があり、井上理事より、①に関しては公募ではなく、③Eーディフェンス見学会については防災科研の担当者と今後相談するとの回答があった。

・①若手向け企画（高校訪問）と③Eーディフェンス見学会（10月16日実施）に関しての企画が承認された。

10) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事）

・小檜山理事より、資料 65-10 に基づいて、16th JEES 運営委員会の活動について報告がなされた。

・中村副会長より、学生を対象としたエクスカッションの内容に関する質問があり、小檜山理事より、関東地震 100 周年にちなんで、神奈川県内の震災遺構をバスで回る企画を考えていて、説明者は小長井一男先生を予定しているとの説明があった。

・学生エクスカッションの参加費補助に関しては、資料通りに承認された。

11) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事・楠理事）

- ・中嶋理事より、資料 65-11 に基づいて、2024 年度大会開催に関する活動について報告がなされた。
 - ・新たに鳥取大・野口先生、岐阜大・久世先生が大会実行委員に加わる件については承認された。
 - ・中嶋理事より、開催の時期に関しては、2024 年 10～11 月くらいであるとの説明があった。
 - ・開催地に関しては、理事会としては第 1 候補を岐阜、第 2 候補を鳥取とし、見積等を次回の理事会までにまとめて、委員会から報告することになった。
- 12) 将来構想委員会からの報告（東副会長）
- ・東副会長より、口頭で、将来構想委員会の活動について報告がなされた。7 月中に WG を 2 回開催したこと、内容に関しての大きな変更はないこと、また、8 月 22 日の WG で最終報告をまとめるとなどの説明があった。
- 13) 関東大震災 100 周年記念セミナーの報告（東副会長）
- ・東副会長より、資料 65-13 に基づいて、「関東大震災 100 周年記念一般公開セミナー（2024.11.03）」の現状報告がなされた。
 - ・東副会長より、セミナー当日の受付係を事務局にお願いしたい旨、発言があった。

議案

第 1 号 入退会者（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 65-14 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。
- ・高田会長より、16th JAEE で会員の勧誘ができないか検討して欲しいとの要望があった。

第 2 号 共催・後援・協賛等（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 65-15 に基づいて、後援（1 件）と協賛（1 件）の名義使用依頼について説明があり、承認された。

第 3 号 会員名簿とその告知について（会員部会山田理事・高橋理事）

- ・山田理事より、資料 65-19 に基づいて、会員名簿の掲載項目の変更案について説明がなされ、本年 9 月に名簿の確認作業を実施すること、確認内容はこれまでと同様であるとの説明があった。
- ・小林理事より、会員に関して公開している情報は機械学会と同様であるとの説明があった。
- ・中嶋理事より、積極的に公表したい人はホームページのリンクを貼ればよいのではないかとの意見が出された。これに対して、高田会長よりリンクインすれば良いのではないかとの意見が出された。
- ・小椋山理事より、査読者の依頼に関しては名簿のメールアドレスが重宝していたので、残して欲しいとの意見が出された。これに対して、向井理事より、査読者依頼の連絡には有用だが、名簿にキーワードがあり、アップデートが頻繁に行われればこれで十分であるとの発言があった。
- ・山田理事より、公開する情報は限定されており（メールアドレスは含まれていない）、査読者を決めるときに事務局に相談すればよいのではないかとの意見が出された。
- ・小林理事より、メールアドレスを閲覧したい場合には、事務局に相談して欲しいと発言があった。
- ・本議題については、資料通りに承認された。

第 4 号 委員会委員の委嘱（阿部理事）

- ・山田理事より、資料 65-20 に基づいて、委員会委員の委嘱について説明がなされた。国際委員会に志賀先生に加わって頂くことが承認された。

懇談事項

1) 「大崎順彦（記念）賞」の設立に関する提案について（高田会長）

- 高田会長より、資料 65-16 に基づいて、大崎順彦（記念）賞の創設について説明がなされた。こ

れに関して出された意見、質問(Q)に関する回答(A)は以下の通り。

Q.個人的には非賛成である。公益法人として、名前を冠した賞は問題ないのか、また、賞金が企業(ORI)から出ることには問題ないのか？(東副会長)

A.公益法人で企業名等を冠した賞を出しているところはある。公共性、中立性の観点も必要であるが、JAEEとして若手を応援する方向性は賞の趣旨と一致している。他の企業からの賞が続々と出てくる可能性もあるが、それはむしろ歓迎されるべきではないか。(高田会長)

Q.若手奨励賞、論文賞が既にあるので、奨励賞との位置付けをどうするのか？大崎賞での賞金が出るとなるとどちらが上、下という問題が出てくる。(中嶋理事)

A.奨励賞とは区別をする必要がある。大崎先生が活躍された分野のテーマに絞れば対象者は限定されるのではないかと。上、下というのは考えていない。(高田会長)

Q.受賞研究対象を、大崎先生の研究領域(限定された領域)の論文に限定するとかなり対象が狭くなる。(東副会長)

A.受賞対象領域に関しては今後、検討を要する。(高田会長)

Q.この賞に関しては、これから検討をスタートするという認識で良いか？(山田理事)

A.その通りである。(高田会長)

- ・本件に関しては、表彰に関する事項のため、功績賞選考委員会(高田会長、副会長、総務理事、会員理事)で検討を進めることとなった。
- ・8月一杯を目処に事務局宛に理事会メンバーからメールで意見を出してもらい、それを踏まえて継続して審議することとなった。
- ・大崎順彦(記念)賞に関する参考資料があるので高橋理事がNASにアップロードする。

2) 第11回会長懇談会の議題、関係学会との懇談について(小林理事)

- ・小林理事より、資料65-17に基づいて、第11回会長懇談会の議題、関係学会との懇談についての説明がなされた。
- ・高田会長より、昨年度のSSJとの懇談会において共通の問題・課題について討議して話し合うような(アグレッシブな)議題はあったか、懇談会が形骸化していないか？との質問があり、小林理事より、昨年度は特にそういった討議はなかったとの説明がなされた。
- ・中村副会長より、学会の連携について立ち返る良い機会になるとの発言があった。
- ・永野監事より、16th JEESで学会の方々との昼食会が予定されているので、その機会をきっかけに繋がりを作るということも一案であるとの意見が出された。
- ・高田会長より、関連学会の会長・副会長との談話会を行って、会誌やNEWSLETTERに掲載してはどうかという案が出された。また、高田会長より、これまでと違った視点で懇談会を考えてはどうかとの意見が出された。
- ・小林理事より、「今後の連携、懇談会のあり方」についても議題に含めて、今年度の懇談会の準備を進めたいという提案があった。

3) 18th WCEEのスポンサーシップについて(中村副会長・阿部理事)

- ・阿部理事より、資料65-18に基づいて、18th WCEEのスポンサーシップについての説明がなされた。
- ・高田会長より、展示ブースやリーフレットによる支援は止めてもよいかも知れない、異なるJAEEの宣伝の仕方があるのではないかと、という意見が出された。これに対して、阿部理事より、奨学金助成も含めて、今からはこれらの支援を行うのは厳しいとの意見が出された。
- ・高田会長より、18th WCEEにJAEEの会員がどれくらい参加するのかと質問があり、阿部理事より現在は把握していないのでIAEEの事務局等より確認する必要があるとの回答があった。
- ・高田会長より、日本の貢献をもっと見せたいので、正式なプログラムではなくて、ランチを外国

の学会のメンバーと一緒にし、名刺（JAEE のシールを添付するなど）の交換を行ってはどうかとの提案があった。

- ・中村副会長より、18th WCEE の支援については、参加者の費用のサポートの話もあったが、JAEE の存在のアピールやアカデミックなネットワークの構築を重視するのか、との質問に対し、高田会長より、ネットワーキングを重視する、トップ同士が会えば学会としての繋がりが深まるのではないかとの発言があった。
 - ・阿部理事を中心に、学会のネットワークを広げる方向で検討を進めることとなった。
- 4) 「事務処理規定」「財産管理運用規則」の改訂について（総務・会計・事務局）
- ・資料 65-21-1～5 を基に、小林理事より事務処理規程と財産管理運用規則の改定案について、また、前川理事より電子帳簿法対応に対応する電子データの保存・運用方法の概要について説明がなされた。
 - ・小林理事より、「事務処理規定」「財産管理運用規則」については、内容を詰めた上で、10月の理事会で審議したい旨の発言があった。
- 5) 防災学術連携体フォーラム「関東大震災 100 年と防災減災科学」（山田理事・阿部理事）
- ・阿部理事より、関東大震災のイベントに関する報告があった。
 - ・山田理事より、フォーラムでは、防災学術連携会議のシンポジウムをどのようなテーマを行うかを参加者に募ったが、富士山噴火や気候変動というの提案があったことなどが報告された。なお、防災学術連携体のホームページにこの時の記念冊子が公開されているとの情報共有がなされた。
- 6) 17th WCEE に関わる預り金の取扱について（総務・事務局）
- ・小林理事より、資料 65-23 に基づき、17th WCEE の預かり金から、4月の意見交換会に参加できなかった委員との意見交換会の費用への補助をお願いしたいとの申し入れが目黒前会長よりあったことの説明がなされた。本件は承認された。

次回予定：（第 66 回理事会）：10 月 13 日（金）16-19 時

（第 11 回日本地震学会・日本地震工学会長懇談会 10 月 2 日（月）15 時-17 時）

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士

監事 永野 正 行